

## 第4学年体育科学習指導案「フラッグフットボール」

日時：令和5年10月17日（火）5校時

対象：第4学年2組33名

### 1 単元名「フラッグフットボール」

### 2 単元の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"><li>ボールを持って走る、味方へのパス、パスカットを狙う動き、空いている場所へ素早く動くことを身に付け、ゲームができる。</li><li>簡易化されたゲームで、簡単なボール操作とボールを受けるための動きによって攻防することができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>チームに合った作戦を選んだり考えたりするとともに、自分や味方の考えたことをチームに伝える。</li><li>チームで目指す作戦に合った練習の仕方を選択する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>フラッグフットボールの楽しさや喜びを味わいながら運動に積極的に取り組み、ルールやマナーを守って助け合って運動しようとしている。</li><li>互いに励まし合ったり、アドバイスを合ったりしながらゲームをする。</li></ul>

### 3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ol style="list-style-type: none"><li>簡易化されたフラッグフットボールの行い方・ルールや安全な運動の仕方を理解できる。</li><li>手渡しパスや後ろパスをすることができる。</li><li>味方からボールを受けるために、空いている場所へ動くことができる。</li></ol>	<ol style="list-style-type: none"><li>効果的な攻め方やチームの特徴に応じた攻め方を知り、作戦を選んでいる。</li><li>自分のチームの特徴に応じた作戦を考えている。</li><li>作戦カードを活用して、作戦のよかったところや改善点について伝え合っている。</li></ol>	<ol style="list-style-type: none"><li>空いている場所を活用したり相手を欺く動きをしたりして運動を楽しみ、これからの学習への意欲をもつことができる。</li><li>集団対集団で競い合うための練習やゲームに積極的に楽しんで取り組もうとしている。</li><li>ルールやマナーを守り、友達と励まし合ったりアドバイスを合ったりして練習やゲームをしようとしている。</li></ol>

### 4 運動の特性

フラッグフットボールは、アメリカンフットボールのルールを安全にゲームができるよう簡易化したゴール型の運動である。この運動の基本的な動きは、走る・ボールを渡す・フラッグを取ることであり、ボールを得点ゾーンまで運ぶことによって得点することができる。得点ゾーンはコート奥に行くほど得られる点が高くなっており、プレイヤーはチームで動き方を工夫して高得点を狙うことで、作戦の必要性を感じながら運動することができる。

また、攻守の区別がはっきりしており、一つ一つの動きがわかりやすい。1回のプレーごとの作戦タイムで、チームの動きの工夫を確認することができる。そのため、一人一人の役割が明確になり、誰もが得点に関わるプレーを行うことで楽しさを味わえる運動である。

## 5 児童の実態

## 6 目指す児童像

### 「 運動やスポーツに親しむ子 」

本時の具体的な手だて	期待される児童の姿
下赤塚小学校の教員によるフラッグフットボールの模範実技をする。	・ 自分も作戦を立てたり運動したりしてみたいと意欲をもつ。
宝運び鬼をする。（ボールは1人1つ持った状態で行う。）	・ 得点することに楽しさを感じる。
運動を楽しむことができる声掛けや関わりを価値付ける。	・ ルールを守ったり、友達のプレーに対してポジティブな声掛けをしたりする。
扱いやすいボールを使用して児童の実態に合わせた簡易的なゲームを行う。	・ イメージ通りの動きでゲームを楽しみ、これからの学習に意欲をもつ。 ・ 高得点を狙うため、もしくは得点を阻止するために動きを工夫する。

7 本時（6時間扱いの1時間目）

(1) 本時のねらい

- ・簡易化されたフラッグフットボールの行い方やルールを理解できる。 (知識及び技能)
- ・宝運び鬼やフラッグフットボールでは、どのように動けばよいのか考えることができる。 (思考力、判断力、表現力)

◎空いている場所を活用したり相手を欺く動きをしたりして運動を楽しみ、これからの学習への意欲をもつことができる。 (学びに向かう力、人間性等)

(2) 本時の展開

	○学習活動 ・予想される児童の反応	□指導上の留意点 ☆期待する児童の姿 評価【評価方法】
導入	<p>○学習の流れ・めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">フラッグフットボールの楽しさを見つけよう。</div> <p>○フラッグフットボールの模範実技を見学する。</p> <p>○準備運動をする。</p>	<p>□下赤塚小学校の教員の模範実技を見ることで、自分もやってみたいという気持ちが高まるようにする。</p> <p>□学習で動かす箇所を重点的にほぐすよう声を掛ける。</p>
展開	<p>○場の準備をする。</p> <p>○しっぽ取り鬼を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさん集めたい。</li> <li>・足が速い人は有利だ。</li> </ul> <p>○宝運び鬼を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やったことがある。</li> <li>・走り抜けて得点したい。</li> <li>・走ることに自信がない。</li> <li>・ボールを運べるか不安だ。</li> </ul>	<p>□準備の仕方を説明する。事前にポイントを用意しておくことで、道具配置を簡略化しておく。</p> <p>□フラッグを手で押さえないことや、フラッグを取ったときの掛け声を指導する。</p> <p>□宝運び鬼のルールを確認して、運動に取り組めるようにする。</p> <p>攻撃4人、守備4人（各鬼ゾーンに2人）</p> <p>☆得点することに楽しさを感じる姿。</p>
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>&lt;手だて&gt; 扱いやすいボールを使用して児童の実態に合わせた簡易的なゲームを行う。</p> </div>	
	<p>○ルールを確認し、フラッグフットボールを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奥の高得点のゾーンまで行きたい。</li> <li>・みんなで得点を狙うのは難しそう。</li> <li>・ボールを持っていないときはどうしよう。</li> <li>・チームで動き方を考えたい。</li> </ul>	<p>□宝運び鬼のルールに、以下のルールを加える。</p> <p>ボール1つ、守備側は2人、スタートゾーンでの手渡しパス有り</p> <p>☆高得点を狙うため、もしくは得点を阻止するために動きを工夫する姿。</p> <p>☆イメージ通りの動きでゲームを楽しむ姿。</p>
まとめ	<p>○片付けをする。</p> <p>○整理運動をする。</p> <p>○学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低い得点は狙えた。</li> <li>・チームで動き方を考えないと高得点を狙うことは難しそう。</li> <li>・作戦を立てて運動してみたい。</li> <li>・次の体育の授業が楽しみだ。</li> </ul>	<p>□安全に協力して片付けるように声を掛ける。</p> <p>□運動で使った箇所をほぐすように声を掛ける。</p> <p>主①空いている場所を活用したり相手を欺く動きをしたりして運動を楽しみ、これからの学習への意欲をもつことができたか評価する。</p> <p style="text-align: right;">【観察・カード・発言】</p> <p>□B基準に達していない児童に対しては、個別に声をかけたり、子供同士の話し合いの場を設定したりしながら、次時の学習活動を工夫する。</p>

